

メモを取るという事

春寒の候 ますますご健勝のこととお喜び申し上げます。

今回少し長めにとった2週間の挨拶まわりを終えました。

お客様にお会いして感じることは、不景気感です。消費税アップ、人口減、米中貿易摩擦…理由はいろいろあるでしょうがお客様の懐具合はきびしくなっています。こんな時こそ我々のサービスを通じて明るい雰囲気をつくっていきたいと思います。どうぞよろしくお願いいたします。



代表取締役社長 吉田治伸

さて、今回は「メモを取る」で話します。25年前私がコニックスに入社した頃、当時仲の良かった長崎屋さんからたくさんの出向者がいました。私がびっくりしたのは、彼らは一様に素早くメモを取る姿勢がありました。聞くと、新入社員研修時にきびしくつけられという事です。彼らとのコミュニケーションは大変安心感がありました。感じた事は、「上場企業の教育は違うな」です。

社長になり、人前で話すことも多くなりましたが、たまに見かけるのがうでぐみをして目をつぶって聞いている人です。こういう人は、話を聞いているのでしょうか？大変不安な気持ちになります。我々の仕事においてもお客様のご依頼に対してメモもとらずに聞いていられるとやはり、何割かは忘れ、お客様には不安感を与えてしまっているのではないのでしょうか？

コミュニケーションの基本はお互いの信頼感です。私も60才に近づき物忘れや頭に入らない事が多くなってきました。それを防止するため今年から大型の手帳を購入し、できるだけメモを取るようにはしております。皆様もそんな事を気にされたらいかがでしょうか？

寒い日が続きますがご自愛ください。